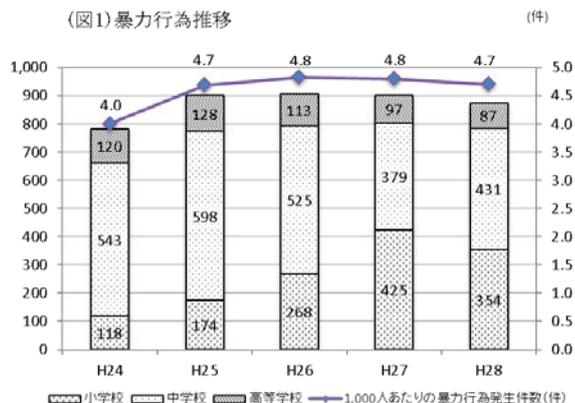


【別紙】

平成28年度 公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為の状況

1 概要 (図1参照)

- 平成28年度の公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為発生件数は872件で、平成27年度と比較して29件減少(前年度比3.2%減)。
- 公立小中学校及び県立高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数は4.7件で、平成27年度(4.8件)より0.1件減少。



2 形態別状況 (表1参照)

- 形態別では、生徒間暴力が610件(構成比70.0%)で最多。
- 次いで対教師暴力132件(同15.1%)、器物損壊118件(同13.5%)、対人暴力12件(同1.4%)の順。

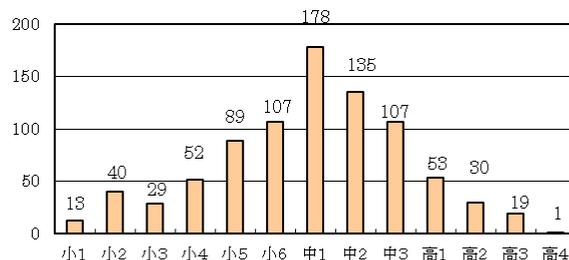
(表1) 暴力行為推移 (形態別) (単位: 件)

	H24	H25	H26	H27	H28
対教師暴力	217	195	194	171	132
生徒間暴力	416	565	591	597	610
対人暴力	13	11	18	9	12
器物損壊	135	129	103	124	118
計	781	900	906	901	872

3 学年別状況 (図2参照)

- 学年別加害児童生徒の総数は853人で、中学生420人(構成比49.2%)を占めている。
- 学年別では、中学1年生が178人(同20.9%)、中学2年生135人(同15.8%)、中学3年生107人、小学6年生107人(同12.5%)の順。

(図2) 暴力行為学年別加害児童生徒数



4 校種別状況 (表2参照)

- 中学校が431件(構成比49.4%)で最多。続いて小学校354件(同40.6%)、高等学校87件(同10.0%)の順。
- 平成27年度と比較すると、小学校で71件の減少、中学校で52件の増加、高等学校で10件の減少。

(表2) 暴力行為推移 (校種別) (単位: 件)

	H24	H25	H26	H27	H28	構成比(%)
小学校	118	174	268	425	354	40.6
中学校	543	598	525	379	431	49.4
高等学校	120	128	113	97	87	10.0
計	781	900	906	901	872	100.0
増減(▲)率(%)	▲0.5	15.2	0.7	▲0.6	▲3.2	

5 加害児童生徒実人数 (表3参照)

- 中学校が387人(構成比48.5%)で最多。続いて小学校311人(同39.0%)、高等学校100人(同12.5%)の順。
- 平成27年度と比較すると、小学校で3人の増加、中学校で18人の増加、高等学校で13人の減少。

(表3) 加害児童生徒実人数推移 (校種別) (単位: 人)

	H24	H25	H26	H27	H28	構成比(%)
小学校	100	148	191	308	311	39.0
中学校	460	507	454	369	387	48.5
高等学校	160	149	132	113	100	12.5
計	720	804	777	790	798	100.0
増減(▲)率(%)	▲2.6	11.7	▲3.4	1.7	1.0	

※(構成比は、H28加害児童生徒実人数計に対する割合)